



Sun Ray™ Server Software 4.0 リリースノート

Linux オペレーティングシステム

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 820-2023-10
2007 年 9 月, Revision A

コメントの送付: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2002—2007 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) は、本書に記述されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人 日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, Sun Ray, Sun WebServer, Sun Enterprise, Ultra, UltraSPARC, SunFastEthernet, Sun Quad FastEthernet, JDK, HotJava, Java, AnswerBook2, docs.sun.com は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

Netscape は、米国 Netscape Communications 社の商標もしくは登録商標です。

OPENLOOK, OpenBoot, JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

U.S. Government Rights—Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Sun Ray™ Server Software 4.0 Release Notes for the Linux Operating System
Part No: 820-0418-10
Revision A



目次

サポートするプラットフォーム	1
新機能	2
新しい管理 GUI	2
新しい OSD	2
オプションのポップアップ GUI	2
統合 VPN サポート	3
キオスク (アクセス制御) モード	3
NAT ゲートウェイデバイスのサポート	3
変更された機能	3
utgstatus	3
自己登録 GUI の拡張	4
既知の問題と回避方法	4
RHEL で必要な再起動 (バグ ID 6481726)	4
GUI の問題	4
管理 GUI のアップグレード (バグ ID 6572246)	4
Apache Tomcat のメモリ不足エラー (バグ ID 6558040)	5
遠隔アクセス (バグ ID 6508069)	5
自己登録 GUI (バグ ID 6533780、6538083)	6
オーディオの問題	6

SuSE マルチヘッドセッションでの小さい音量 (バグ ID 6552753)	6
xmmms プレイヤの設定 (バグ ID 6473628)	6
キーボードの問題	7
Alt キーとメタキー	7
2 台目の DTU での XKB 機能	7
RHEL 上の XKB	7
数値入力キーのマッピング	7
キー配列	7
画面の問題	8
2 つ目の Linux セッションの画面ロックが機能しない	8
外部ストレージの問題	8
各言語対応の問題	8
ポルトガル語ロケール	8
utselect および utwall	9

Sun Ray Server Software 4.0

リリースノート

Linux オペレーティングシステム

サポートするプラットフォーム

このバージョンの Sun Ray Server Software は、次のバージョンの Linux オペレーティングシステムで機能します。

- SuSE Linux Enterprise Server (SLES) 9 (Service Pack 3)
(32 ビットおよび 64 ビット)
 - パッケージはすべて必須で、インストールする必要があります。
 - インストール時には「Full Installation」を選択してください。
 - tftp を必ずインストールしてください。
- Red Hat Enterprise Linux Advanced Server (RHEL AS) 4 Update 3
(32 ビットおよび 64 ビット)
 - パッケージはすべて必須で、インストールする必要があります。

新機能

Sun Ray Server Software 4.0 for Linux では、次の新機能が提供されています。

新しい管理 GUI

Sun Ray 管理 GUI は 4.0 リリースで書き換えられています。JSF (Java Server Faces) テクノロジを使用して、最新の Sun ブランドに準拠している Web ベース管理インタフェースを動的に描画します。これまで使用されていた CGI ベースの描画ロジックは完全に削除されました。

新しい OSD

On Screen Display アイコンが変更されて、接続やその他の問題がより明確に視覚化されました。ただし、アイコンのコードおよび DHCP のコードは同じままです。これについては、『Sun Ray Server Software 4.0 管理者マニュアル』の表 B-1 および表 B-2 を参照してください。

オプションのポップアップ GUI

ポップアップグラフィカルユーザーインタフェースによって、接続したキーボードから Sun Ray DTU のネットワーク構成パラメータの入力を行えます。これについては、『Sun Ray Server Software 4.0 管理者マニュアル』の第 7 章を参照してください。

従業員が自宅から会社の Web サイトにアクセスするために Sun Ray DTU を使用する場合など、特定の実装でこの機能は便利ですが、その他の環境では適さないこともあります。そのため、SRSS 4.0 には DTU ファームウェアの 2 つのバージョンがあります。

- 次の標準の場所にインストールされたデフォルトバージョンのファームウェア
/opt/SUNWut/lib/firmware

このバージョンには、設定機能は含まれていません。utadm と utfwadm を使用する標準インストール機能はデフォルトバージョンをインストールします。

- 次の場所にインストールされた設定可能なバージョンのファームウェア
/opt/SUNWut/lib/firmware_gui

設定機能を含むファームウェアを使用するには、管理者は -f オプションを使用して utfwadm を実行してファームウェアをインストールしてください。

統合 VPN サポート

最新のファームウェアを搭載した Sun Ray Server Software は、リモートユーザーが個別の VPN ルーターを必要としない VPN の解決方法を提供します。ただし、企業ネットワークでは、Cisco EasyVPN プロトコルをサポートする Cisco ゲートウェイを利用する必要があります。さらに、オプションのポップアップ GUI ファームウェアも必要です。

統合 VPN サポートは、次の Sun Ray 2 DTU でのみ使用可能です。

- Sun Ray 2
- Sun Ray 2FS
- Sun Ray 270

キオスク (アクセス制御) モード

現在、Linux プラットフォームではキオスクモードがサポートされています。キオスクモードポリシーは、ユーザーのスマートカードトークンまたは DTU の擬似トークンの設定で上書きすることができます。詳細については、『Sun Ray Server Software 4.0 管理者マニュアル Linux オペレーティングシステム』の第 10 章を参照してください。

NAT ゲートウェイデバイスのサポート

Sun Ray DTU が NAT ゲートウェイの内側にある場合でも、周辺機器がサポートされるようになります。

変更された機能

utgstatus

このリリース以降から、utgstatus コマンドは、信頼できるホストのサーバー情報のみを表示します。

自己登録 GUI の拡張

このリリースでは、PAM 認証との互換性のために自己登録 GUI が拡張されています。詳細は、pam および pam.conf のマニュアルページを参照してください。自己登録 GUI は PAM サービス名 *utselfreg* を使用します。このサービスの /etc/pam.conf に特定の PAM 構成は追加されないで、pam.conf のマニュアルページで説明されているように、ほかの PAM サービスにデフォルト設定されます。

既知の問題と回避方法

RHEL で必要な再起動 (バグ ID 6481726)

RHEL での Sun Ray Server Software のインストール後、Sun Ray サーバーを再起動してから次のコマンドで Sun Ray サービスを再起動してください。

```
# /opt/SUNWut/sbin/utrestart -c
```

GUI の問題

管理 GUI のアップグレード (バグ ID 6572246)

4.0 管理 GUI には、Java サーブレットおよび Java Server Pages (JSP) の標準規格をサポートする Web コンテナが必要ですが、以前のバージョンでは必要ありませんでした。この変更によって、Apache Tomcat 5.5 以上をシステムにインストールする必要があり、そのため、utconfig スクリプトが既存の Tomcat インスタンスの場所を要求するために拡張されました。

以前のバージョンの Sun Ray Server Software から (保存していたファイルを使うなどして) アップグレードを実行する場合は、アップグレード完了後に utconfig -w を実行してください。utconfig -w コマンドでは、Tomcat インストールの場所を含む管理 GUI の設定を求められ、そのあとに管理 GUI が自動的に起動されます。

Apache Tomcat のメモリー不足エラー (バグ ID 6558040)

Apache Tomcat は、Java Runtime Environment (JRE) の Java 仮想マシン (Java Virtual Machine, JVM) 内で実行されます。JVM は、クライアント VM またはサーバー VM として実行できます。一般に、サーバー VM はクライアント VM と比べて多くのメモリーを確保して起動に時間がかかりますが、時間の経過とともにサーバー VM はクライアント VM より高速に実行します。

クライアント VM で Tomcat を実行すると、一部のシステムでメモリー不足の問題の原因になることがあります。管理 GUI にアクセスするときにメモリー不足の問題が発生する場合は、管理 GUI をサーバー VM で実行するように、Tomcat を次のように明示的に設定してください。

1. webadmin.conf ファイルの jre.options プロパティを次のように変更します (/etc/opt/SUNWut/webadmin/webadmin.conf を参照)。

```
jre.options=-server
```

2. 次のように管理 GUI を再起動して、新しい設定を適用します。

```
/opt/SUNWut/lib/utwebadmin restart
```

注 – システムがサーバークラスのマシン (少なくとも 2 基の CPU、最低でも 2G バイトの物理メモリー) である場合、サーバー設定を指定しなくても、サーバー VM が自動的に使用されます。詳細については、<http://java.sun.com/j2se/1.5.0/docs/guide/vm/server-class.html> を参照してください。

遠隔アクセス (バグ ID 6508069)

遠隔アクセスを無効にすると、空白のページが表示されることがあります。

utconfig -w コマンドによって、管理 GUI への遠隔アクセスを有効または無効にすることができます。遠隔アクセスが無効である場合 (デフォルト)、<http://localhost:1660> または <http://127.0.0.1:1660> を経由して管理 GUI にアクセスしてください。

その場合に <http://<servername>:1660> を経由しても管理 GUI にはアクセスできず、空白のブラウザページが表示されます。<http://<servername>:1660> を経由して管理 GUI にアクセスするには、遠隔アクセスを有効にしてください。

自己登録 GUI (バグ ID 6533780、6538083)

誤ったユーザー名またはパスワードを入力すると、自己登録 GUI でテキストが入力できなくなります。

この問題を回避するには、「終了」ボタンを押して自己登録 GUI を再起動してください。

自己登録 GUI を使用すると、場合によって Java コアダンプが起きることがありますが、予期したとおりに登録し続け、その他の不都合な影響も見られません。ただし、coreadm が一意にコアダンプを名付けるように構成されている場合は、ディスク容量の使用状況を監視してください。

オーディオの問題

SuSE マルチヘッドセッションでの小さい音量 (バグ ID 6552753)

SuSE で、場合によって、マルチヘッドセッションの音量が非常に小さくなります。

この問題を回避するには、新しいオーディオデバイスを作成し、AUDIODEV および UTAUDIODEV 変数をそのオーディオデバイスに設定して使用してください。

xmms プレイヤの設定 (バグ ID 6473628)

mp3 ファイルを再生するために xmms プレイヤを設定するには、次の手順を実行してください。

1. xmms 出力プラグインの設定を変更して、より多くのバッファリングを追加します。
2. バッファサイズを 10000 ms に、プレバッファパーセントを 90 に変更します。
コマンド行またはメニューから xmms を実行するとき、パネルの左側の文字 O をクリックして「Preferences」メニューを表示します。
3. 「Audio I/O Plugins」ボタンの下の「Output Plugin OSS Driver」を選択し、「設定」ボタンを押します。
4. 「Buffering」を選択します。
 - a. デフォルトのバッファサイズは 3000 ms です。これを 10000 ms に変更します。
 - b. デフォルトのプレバッファパーセントは 25 です。これを 90 に変更します。
5. 「了解」を押し、さらに「Preferences」パネルで「了解」を押します。

6. `xmms` を終了して再起動します。

キーボードの問題

Alt キーとメタキー

XKB が有効になっている場合、Alt キーとメタキーは機能が入れ替わります。

2 台目の DTU での XKB 機能

ユーザーが同じユーザー ID を使って 2 台目の DTU にログインした場合、XKB 関連機能は機能しません。

RHEL 上の XKB

RHEL では、XKB 機能を有効にしたあとで次のようなメッセージが表示されますが、機能は正しく実行されます。

```
Error activating XKB configuration.  
Probably internal X server problem.
```

数値入力キーのマッピング

数値入力キーのマッピングが、`utsettings`、`utmhconfig`、および登録 GUI など Java ベースの Sun Ray ツールで正しく機能しません。

この問題を回避するには、次のように環境変数 `_AWT_USE_TYPE4_PATCH` を `false` に設定してください。

```
# setenv _AWT_USE_TYPE4_PATCH false
```

キー配列

`setxkbmap` を使用して Sun Ray DTU でキーボードのキー配列を設定できません。

画面の問題

2 つ目の Linux セッションの画面ロックが機能しない

Linux セッションを 2 つ作成する場合、ユーザーは、2 つ目のセッションに対しては画面ロックを設定できません。SRSS で画面をロックする必要がある場合は、2 つ目のセッションに対して `xlock` を使用します。メニューから画面をロックしようとしても、何も起こりません。この問題を回避するには、`xlock` を使って画面のロックを有効にして SRSS を停止させるために、2 つ目のセッションに対して手動で `screensaver` デーモンを起動します。

```
# /usr/X11R6/bin/xscreensaver -nosplash &
```

外部ストレージの問題



注意 – 外部ストレージデバイスを切断する前に `utdiskadm -r` を実行しなかった場合、データが損失することがあります。外部ストレージデバイスを切断する前に、必ず `utdiskadm -r` を実行してください。

```
% /opt/SUNWut/bin/utdiskadm -r device_name
```

各言語対応の問題

管理 GUI でロケールを正しく表示するには、ブラウザの言語設定を適合させて必要なロケール (fr、ja、または zh_CN) を選択してください。

たとえば、Mozilla の場合、「ツール」->「オプション」->「詳細」->「言語の変更」と進みます。

ポルトガル語ロケール

ポルトガル語ロケールを有効にするには、`rpm -i` コマンドを使用して、次のパッケージをインストールしてください。

```
# rpm -i SUNWputo-4.0-05.i386.rpm
```

utselect および utwall

簡体字中国語、繁体字中国語、韓国語のロケールでは、utselect および utwall は Linux ディストリビューションで正しく動作しません。

この問題を回避するには、適切なロケールのサブディレクトリから utselect および utwall カタログファイルを削除します。これにより utselect および utwall が英語で動作します。

簡体字中国語ロケールの場合:

```
# rm /opt/SUNWut/lib/locale/zh_CN/LC_MESSAGES/utselect.mo
# rm /opt/SUNWut/lib/locale/zh_CN/LC_MESSAGES/utwall.mo

# rm /opt/SUNWut/lib/locale/zh_CN.utf8/LC_MESSAGES/utselect.mo
# rm /opt/SUNWut/lib/locale/zh_CN.utf8/LC_MESSAGES/utwall.mo
```

繁体字中国語ロケールの場合:

```
# rm /opt/SUNWut/lib/locale/zh_TW/LC_MESSAGES/utselect.mo
# rm /opt/SUNWut/lib/locale/zh_TW/LC_MESSAGES/utwall.mo
```

韓国語ロケールの場合:

```
# rm /opt/SUNWut/lib/locale/ko_KR.utf8/LC_MESSAGES/utselect.mo
# rm /opt/SUNWut/lib/locale/ko_KR.utf8/LC_MESSAGES/utwall.mo
```

